

## 令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	3	教科書	精選現代文B (東京書籍)		
副教材等	精選現代文B学習課題ノート (東京書籍)				

学習の目標	1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。 2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。
学習の方法	・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとおこなしましょう。 ・学習課題集の問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1学期 中間	評論1 世界をつくり替えるために	・世界と自分との間に越えがたいずれを感じるものが、あらゆる未来の「種」をあみ出す起点となることについて学びます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論1 ミロのヴィーナス	・鋭い感性と巧みなレトリックによって書かれた文章を読みます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	◎	-	-	○
1学期 期末	小説1 山月記	・小説を読み、そこに描かれた場面や登場人物についての的確に捉えます。 ・虚構性を通して、人間とは何であるかについて考えを深めます。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論2 相手依存の自己規定	・日本人は、自分が何であるかという自己同一性の確認を他者を基準にして行う傾向が強いということについて学びます。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	-	◎	-	○
2学期 中間	詩歌 見えない季節 他	・近現代詩の鑑賞の仕方を学びます。 ・作品独自の表現などに注意して、内容を理解します。 ・建築を通して、表象と存在について考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論3 おじいさんのランプ	・現代における情報化の進行をふまえて、本、言葉、情報と人間の関係について考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	-	◎	-	○
2学期 期末	小説2 こころ	・小説を読み、登場人物・情景・心理などの描写を的確に捉えて味わいます。 ・人生への関心を深め、自己の形成に資するようにします。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論4 「である」ことと「する」こと	・出生や家柄によって決まる「である」論理から、その人の業績が価値を決める「する」価値への移行を提言する文章を読解します。 ・日本の近代化を学ぶうえで欠かせない考え方を理解します。 ・小テスト、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	◎	-	-	○
学年 末	評論4 人間の運命と科学	・人間の認知や欲望を規定する認知的バイアスは、短期的な競争に勝ち抜くという選択肢の下で進化したがゆえに、人間の長期的な存続を妨げる可能性があることについて学びます。 ・小テスト、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	◎	-	-	○
	小説3 蠅	・硬質で輝きに満ちた文体が描き出す鮮烈なイメージのあふれる小説を読解する中で、内容や表現についてさまざまな観点から議論します。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	-	-	◎	○
	評論5 日本人の美意識	・日本人は、弱くて小さいものに美的感情を刺激され、それを「うつくし」と表現したこと理解し、美術論や日本文化論について考えます。 ・小テスト、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	-	-	◎	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 話す・聞く能力	行動の観察、発表、プレゼンテーション	10
③ 書く能力	課題プリント、レポート、定期考査	20
④ 読む能力	課題プリント、定期考査	20
⑤ 知識・理解	ノート、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	4	教科書	高等学校 改訂版 古典B (第一学習社)		
副教材等	高等学校 改訂版 古典B学習課題集 (第一学習社)				

学習の目標	1 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てます。 2 古典に親しむことで言語感覚を豊かにし、文化を理解する力を養います。
学習の方法	・予習では、ノートに本文、文法、口語訳などを記入しておきます。また、音読をしましょう。 ・授業中は、口語訳や文法の確認を中心に行います。しっかり聞いて、予習の段階で分からなかったところを確認しましょう。 ・復習では、学習課題集を解いて、学習した内容を定着させましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	古文(説話)	・筆者が主張している内容について整理します。 ・登場人物の心情や人物像を、表現に即して考えます。 ・庶民性や平俗性といった特色を理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文(故事・寓話)	・登場人物の心情を理解します。 ・漢文に頻出する語彙や句法を確認し、現代語訳します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
1 学期 末	古文(随筆1)	・中世の無常観を理解し、その背景を考えます。 ・文中の助動詞の意味・用法について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文(古代の史話)	・古代中国の人々の考え方や生き方を読み味わい、自らの考え方をまとめます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、レポート、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 中間	古文(物語1)	・登場人物の関係を、敬語の使われ方から理解します。 ・文中の助詞・助動詞の意味・用法について理解します。 ・物語の特徴を比較し、文学世界を味わいます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、プレゼンテーション、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文(名家の文章)	・句法や頻出の語彙に注意しながら現代語訳します。 ・登場人物の人柄について考察します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 末	古文(随筆2・物語2)	・随筆から筆者の観察眼と美的感覚を理解します。 ・物語の内容を理解し、古典の世界の理解を深めます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文(項羽と劉邦)	・句法に注意しながら書き下し文・現代語訳をします。 ・人物関係を整理し、それぞれの性格を読み取ります。 ・行動の観察、ノート、小テスト、レポート、定期考査	○	—	—	◎	○
学 年 末	古文(日記・物語3)	・本文全体を通して、作者の主張を読み取ります。 ・本文中の敬語について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文(漢詩の鑑賞・思想)	・詩の情景や心情を読み味わいます。 ・各詩の詩型及び押韻を確認します。 ・孔子・孟子・老子が尊ぶ「人間像」を考察します。 ・孔子の理想とする政治論について理解する。 ・行動の観察、ノート、小テスト、プレゼンテーション、定期考査	○	—	—	◎	○
	古文(和歌・俳諧)	・時代背景や文化を踏まえて、和歌を読み味わいます。 ・中国の文化との比較を通して理解を深めます。 ・行動の観察、ノート、レポート、小テスト	○	—	—	◎	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント、レポート、プレゼンテーション	20
② 話す・聞く能力		—
③ 書く能力		—
④ 読む能力	課題プリント、レポート、発表、定期考査	40
⑤ 知識・理解	ノート、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史B	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	2	教科書	詳説世界史 改訂版 (山川出版社)		
副教材等	歴史風景館 世界史のミュージアム (東京法令出版)、世界史重要語句CheckList2022 (啓隆社)				

学習の目標	1 世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けて理解します。 2 文化の多様性・複合性と現代世界の特徴を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。
学習の方法	・歴史的事項について、単に暗記しようとせず歴史の流れや同時代史的な横のつながりの把握や歴史的意義の理解が大切です。授業を集中して受けましょう。 ・家庭学習では復習に重点を置き、資料集も活用する習慣を身に付けましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 オリентと地中海世界	・文明発祥の地であるオリент文明と地中海に成立したギリシア、ローマ文明、及びその相互の関わりについて考察します。 ・ノート、定期考査	○	○	—	◎
	第2章 アジア・アメリカの古代文明	・南アジア、東南アジアの風土・自然を理解し、そこに成立した文明について学びます。 ・ノート、白地図作業、定期考査	○	◎	○	○
1 学期 末	第2章 アジア・アメリカの古代文明	・東アジア、南北アメリカの風土・自然を理解し、そこに成立した文明について学びます。 ・ノート、白地図作業、定期考査	○	○	○	◎
	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	・内陸アジアの歴史を学ぶとともに文明が交錯した場としての内陸アジアの歴史的意義について考察します。 ・ノート、白地図作業、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 中間	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	・魏晉南北朝の分裂時代から元朝による南宋の征服に至るまでの千年あまりの東アジアの歴史を中国を中心に、朝鮮や日本の周辺国家の形成を関連付けて学びます。 ・ノート、白地図、定期考査	○	○	○	◎
	第4章 イスラーム世界の形成と発展	・イスラーム世界の自然・風土とその発展を理解し、イスラーム世界の多様性について考察します。 ・ノート、小テスト、ポートフォリオ評価、定期考査	○	◎	—	○
2 学期 末	第4章 イスラーム世界の形成と発展	・7世紀のイスラーム教の成立から15世紀までのイスラーム世界の拡大について学習します。 ・ノート、白地図、定期考査	○	○	○	◎
	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	・東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立・発展について学び、ヨーロッパ世界の特徴について考察します。 ・夏休み課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	—	◎
3 学期	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・内陸アジア諸民族と宋の抗争などについて学び、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を考察します。 ・ノート、定期考査	○	○	○	◎
	第7章 アジア諸地域の繁栄	・16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特徴について学び、その中での日本の位置付けを理解します。 ・ノート、ポートフォリオ評価、定期考査	○	◎	—	○
	主題学習 時間軸からみる諸地域世界	・同時代性に着目した主題を設定し、世界史を空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得します。 ・レポート、パフォーマンス評価	○	◎	○	—

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	発表、ノート、白地図作業、ポートフォリオ評価	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用の技能	発表、定期考査、パフォーマンス評価	20
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	4	教科書	詳説日本史 改訂版 (山川出版社)		
副教材等	最新日本史図表 五訂版 (第一学習社)、日本史重要語句CheckList2022 (啓隆社)				

学習の目標	日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察させ、広い視野に立って理解し、日本の伝統と文化の特色について認識を深めます。また、歴史的思考力を培い、日本人としての自覚と国際社会に主体的に生きる資質を養います。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を基本教材としつつ、資料が豊富な副教材も適宜活用します。</li> <li>・定期的に内容確認の小テストを実施し、学習内容の定着を図ります。</li> <li>・意欲・関心を持って主体的に学習に取り組み、復習を怠らないようにしましょう。</li> </ul>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文明の成立過程を道具や文化に着目しながら学習し、必要となった新しい技術・概念やその意義について考えます。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○	○
	第2章 律令国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・律令国家の成立過程を国際関係に着目しながら学習します。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
1 学期 末	第2章 律令国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・律令国家体制の組織や奈良時代の権力闘争について学習し、文化の特色と成立の背景について考えます。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
	第3章 貴族政治と国風文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など、古代国家の推移、文化の特色と成立の背景について考えます。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
2 学期 中間	第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院政と平氏の台頭、鎌倉幕府について、成立過程や背景について学習します。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○	○
	第4章 中世社会の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武士の土地支配と公武関係、大陸との関係、仏教の動向に着目して、中世国家と文化の特色について学習します。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
2 学期 末	第5章 武家社会の成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大陸との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下克上などを通じて、中世社会の多様な展開について学習します。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	第5章 武家社会の成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して中世社会の文化の特色と成立の背景について考えます。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
3 学期	第Ⅲ部 近世 第6章 幕藩体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権の成立について、その特色や社会の仕組みについて学習します。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	◎	○	○	○
	第6章 幕藩体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度や儒学の役割、文化の特色に着目して学習します。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	第7章 幕藩体制の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成について、生活や文化の特色とその成立背景について考えます。</li> <li>・学習プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、学習プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用 of 技能	発表、定期考査	10
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理A	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	2	教科書	高等学校 新地理A (帝国書院)、新詳高等地図 (帝国書院)		
副教材等	新編フォトグラフィア地理図説2022 (東京法令出版)、地理ワークブック2022 (愛媛県高教研地理歴史・公民部会地理部門)				

学習の目標	地理では、現代世界の抱えている諸問題を、身近なところから世界的規模まで空間的な広がりの中で捉えて考察する姿勢を身に付けます。
学習の方法	・地図帳や作業地図などを活用して、自然環境、産業、人々の生活・文化、地球的課題などの特徴や分布状況を空間的な広がりの中で捉えていきましょう。自分の知識や体験を通して、普段から様々な問題に興味・関心を持ち、解決しようとする前向きな姿勢を大切にしましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学 期 中 間	第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 1章 地球儀や地図からとらえる現代社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地上の現象と地球上の位置、時差、地図の図法、国家の領域と国境、日本の領域と領土問題、交通、通信、貿易について学習します。</li> <li>・作業プリント、発表、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	2章 人間生活を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の生活と地形、気候、産業、文化の関連性について学習します。</li> <li>・ノート、作業プリント、定期考査</li> </ul>	○	○	—	◎
2 学 期 中 間	3章 世界の諸地域の生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、西アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアなどの生活や文化について学習します。</li> <li>・ノート、作業プリント、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
	4章 地球的課題と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市・居住問題について学習します。</li> <li>・ノート、作業プリント、定期考査</li> </ul>	○	◎	—	○
3 学 期	第2部 身近な地域の課題 1章 身近にあるさまざまな地図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある様々な地図、GISやGPSの仕組み、情報を地図化する方法を学習します。</li> <li>・ノート、パフォーマンス評価、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
	2章 日本の自然環境と防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然環境、火山災害、地震被害、風水害、防災について学習します。</li> <li>・ノート、作業プリント、定期考査</li> </ul>	○	◎	—	○
	3章 身近な地域の課題と地域調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の課題やその調査方法、調査内容のまとめ方について考えます。</li> <li>・作業プリント、パフォーマンス評価、定期考査</li> </ul>	◎	○	○	—

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、作業プリント、ノート	20
② 思考・判断・表現	発表、作業プリント、ノート、定期考査	30
③ 資料活用の技能	発表、パフォーマンス評価、定期考査	20
④ 知識・理解	作業プリント、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理B	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	4	教科書	新詳地理B (帝国書院)、新詳高等地図 (帝国書院)		
副教材等	新詳地理資料COMPLETE 2022 (帝国書院)、地理ワークブック2022(愛媛県高教研地理歴史・公民部会地理部門)				

学習の目標	地理では、現代世界の抱えている諸問題を、身近なところから世界的規模にまで 空間的な広がり のなかで捉えて、系統地理的な方法と、地誌的な方法の二つの方法を使いながら考えていきます。
学習の方法	地図帳や作業地図・白地図などを活用して、自然環境、農業、鉱工業などの特徴や分布状況を空間 的な広がりの中で捉えていきましょう。自分の知識や体験を通して、普段から様々な問題に興味・ 関心を持ち、解決しようとする前向きな姿勢を大切にしましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 2章 地図の活用と地域調査	・地図の種類や時差の求め方、地形図の活用と地域調査について 学習します。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	◎	○
	第2部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 1節 世界の地形	・世界の地形について、大地形、小地形の分布や成因を考察し、 災害と恩恵など人間生活との関係を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	-	◎
1 学期 末	2節 世界の気候	・世界の気候について、それぞれの気候区の特徴と農業など人間 生活への影響を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	○
	2節 世界の気候	・世界の気候について、それぞれの気候区の特徴と農業など人間 生活への影響を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 中間	3節 日本の自然の特徴と人々の生活	・日本の生活について、地形や気候との関係や日本における自然 災害の特徴を理解し、今後の防災のあり方を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	-
	4節 環境問題	・地球温暖化、森林破壊、砂漠化などの環境問題を扱います。ま た、日本の環境問題の特徴と対策について考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	-
	2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業	・現代世界の農林水産業の現状と課題、世界のなかでの日本の農 林水産業が抱える課題を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	-	◎
2 学期 末	2節 食料問題	・世界の食料需給の地域的な偏りを大観し、発展途上国、先進 国、日本についての事例を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	◎	○	○	-
	3節 世界のエネルギー・鉱産資源	・エネルギー資源の利用と分布、鉱産資源の分布について学習し ます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	○	◎
3 学期	4節 資源・エネルギー問題	・現代世界の資源・エネルギー問題を大観し、資源をめぐる問題 について考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	-	◎
	5節 世界の工業	・工業の発達や立地、世界の工業地域について学習し、世界の工 業の現状と課題、及び日本の工業の課題を考えます。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	○	-	◎
	6節 第3次産業	・現代世界の第3次産業の発展と、世界と日本の観光業の特色に ついて学習します。 ・学習プリント、作業プリント、定期考査	○	◎	○	○
				○	◎	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、学習プリント、作業プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用の技能	発表、定期考査	10
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	公民	科目	倫理	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	2	教科書	高等学校 新倫理 新訂版 (清水書院)		
副教材等	最新図説 倫理 (浜島書店)				

学習の目標	1 青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について、先哲の思想から広い視野に立って多面的・多角的に考察します。 2 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、他者と共に生きる主体としての自己を確立させ、良識ある公民としての必要な能力と態度を身に付けます。
学習の方法	・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用します。 ・定期的に内容確認の小テストを実施し、学習内容の定着を図ります。 ・事前に家庭で教科書を読んでから、授業に臨みましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1編 現代に生きる自己の課題	・人間性の定義を学び、青年期の特徴や発達課題について理解し、自己の在り方生き方を考察します。 ・学習プリント、定期考査	○	○	—	◎
	第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学	・ソクラテスやプラトン、アリストテレスなどのギリシャ思想について理解します。 ・学習プリント、定期考査、単元テスト	○	◎	—	○
1 学期 末	第2章 人生における宗教	・キリスト教やイスラーム、仏教などの宗教について理解し、人々に与えた影響を考察します。 ・学習プリント、単元テスト、定期考査	○	○	◎	—
	第3章 人生の知恵 第4章 人生における芸術	・孔子に始まる儒家の思想や老子の道家の思想を理解します。 ・現代社会における人間としての生き方について考察します。 ・学習プリント、定期考査	○	◎	○	—
2 学期 中間	第3編 現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題	・社会の合理化の過程と近代社会の特徴をとらえ、科学技術の発展と現代の倫理的課題について考察します。 ・学習プリント、定期考査	○	◎	—	○
	第2章 現代に生きる人間の倫理	・ルネサンス以降の先哲の思想を理解し、人間の尊厳や生命への畏敬、自己実現と幸福などについて倫理的考え方を身に付けます。 ・学習プリント、単元テスト、定期考査	○	◎	—	○
2 学期 末	第4編 国際社会に生きる日本人の自覚 第1章 日本の風土と外来思想の受容	・日本の風土の特徴を理解するとともに、古代の人々の考え方や仏教の受容から日本人の宗教観・倫理観について考察します。 ・学習プリント、単元テスト、定期考査	○	◎	○	—
	第1章 日本の風土と外来思想の受容	・日本における儒教、国学、庶民の思想、西洋近代思想について理解します。 ・学習プリント、定期考査	○	○	◎	—
3 学期	第2章 現代の日本と日本人としての自覚	・第二次世界大戦後の日本人の新たな価値観を学ぶとともに、現代に生きる国際社会における日本人としての在り方生き方を考察します。 ・学習プリント、定期考査	○	○	—	◎
	第5編 現代の諸課題と倫理	・生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などの倫理的課題を自己の課題とつなげて探究します。 ・学習プリント、レポート、定期考査	○	○	◎	—
	第5編 現代の諸課題と倫理	・現代の諸課題について、これまで学んだ思想家の思考を参考に小論文を作成し、思考力・表現力を伸ばします。	○	◎	○	—

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、振返りシート	20
② 思考・判断・表現	グループワーク、定期考査、小論文、振返りシート	30
③ 資料活用の技能	グループワーク、定期考査、小論文	20
④ 知識・理解	単元テスト、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ・B	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	6	教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅱ (数研出版) ・ 改訂版 高等学校 数学B (数研出版)		
副教材等	改訂版 4プロセス 数学Ⅱ+B (数研出版)、増補改訂版 チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B (数研出版)				

学習の目標	基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てます。そして、それを達成するために、学力の伸長を図ります。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書と並行して、教科書傍用問題集「4プロセス」で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力してください。</li> <li>・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出してください。</li> </ul>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整式の乗法・除法及び分算の四則計算について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	○	◎
	第2節 等式・不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等式や不等式が成り立つことの証明について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
	数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くことについて学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	◎	○
	第2節 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・因数分解を利用して高次方程式を解くことについて学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
1 学期 末	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座標や式を用いて直線の方程式などについて学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	-	◎
	第2節 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座標や式を用いて円の方程式などについて学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	第3節 軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図形の性質や関係を数学的に表現することについて学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	数学B 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベクトルの基本的な概念について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	○	◎
	第2節 ベクトルと平面図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベクトルの平面図形への応用について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
2 学期 中間	数学Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・角の概念を一般角まで拡張して三角関数について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	-	◎
	第2節 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角関数の加法定理について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数関数について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	○	◎
	第2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対数関数について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
2 学期 末	数学B 第2章 空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベクトルの空間図形への応用について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	◎	○
	数学B 第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等差数列と等比数列について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	○	◎
3 学期	第2節 いろいろな数列	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな数列について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
	第3節 漸化式と数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漸化式と数学的帰納法について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微分の考えについて学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	○	◎
	第2節 関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数の増減と極大・極小について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	取組状況観察、振り返り、発表、課題プリント、ノート	10
② 数学的な見方や考え方	取組状況観察、発表、ノート、小テスト、定期考査	30
③ 数学的な技能	板書の整理状況、ノート、小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	定期考査、小テスト、課題プリント	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。



## 令和3年度 シラバス

教科	理科	科目	地学基礎	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	2	教科書	地学基礎 改訂版 (啓林館)		
副教材等	地学学習帳 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会) ・ニューステージ地学図表 (浜島書店) ・センサー地学基礎改訂版 (啓林館)				

学習の目標	1 身の回りにおける自然の事物の観察や、発生する自然現象について考察します。 2 地学を通して、身の回りの自然現象を科学的に思考する態度や自然環境の保全に寄与する姿勢を身に付けます。
学習の方法	・授業中は教科書の内容だけでなく、資料集に掲載されている図や表から、頭の中で地学現象のメカニズムを3次元でイメージすることが大切です。 ・家庭学習では副教材を用いて基礎知識を定着させ、授業内容をさらに理解できるように心掛けてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 固体地球とその変動 (1) 地球 (2) 活動する地球	・固体地球について、観測・計測データを考察し、理解します。 ・実験ノート、実験の観察、課題プリント、定期考査	○	◎	○	○
		・地上での環境の変化や生物の進化を地層に残された証拠や化石から推察し、先史時代の歴史を理解します。 ・実験ノート、観察・実験の観察、ポートフォリオ評価、定期考査	○	○	◎	○
2 学期 中間	3 大気と海洋 (1) 大気構造 (2) 太陽放射と大気・海水の運動	・天気図や日々の天気現象を原因と結果を理解しながら深めます。 ・実験ノート、観察・実験の観察、課題プリント、定期考査	○	◎	○	○
		・大気圏で起こるエネルギーの収支について、大気圏に存在する物質の特徴から理解します。 ・実験ノート、観察・実験の観察、課題プリント、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 末	(3) 日本で見られる季節の気象	・日本における季節ごとの天気図の移り変わりを、原因と結果を理解しながら深めます。 ・実験ノート、観察・実験の観察、課題プリント、定期考査	○	◎	○	○
		・恒星について理解し、太陽を恒星の一つと考えて学習します。 ・星の集合である銀河、とりわけ太陽系の属する銀河系について、理解を深め、銀河の存在する宇宙について体系的に学習します。 ・行動の観察、課題プリント、ポートフォリオ評価、定期考査	○	○	○	◎
3 学期	5 自然との共生 地球環境と人類の関係	・今まで習ったことを実生活と関連づけて学びます。 ・日本で起こりうる災害に対して、被害を最小限に抑え、生き延びるためにどうすべきかを考えていきます。 ・地域の防災マップやネット上の地図サイトなどを利用し、よりリアルに防災について考えていきます。 ・行動の観察、課題プリント、定期考査、パフォーマンステスト	○	◎	-	○

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	ポートフォリオ評価、パフォーマンステスト、定期考査	25
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験ノート、定期考査	25
④ 知識・理解	実験ノート、課題プリント、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	理科	科目	生物探究	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	1	教科書	改訂版 生物基礎 (数研出版)		
副教材等	スクエア最新図説生物neo(第一学習社)・セミナー生物基礎(第一学習社)・生物基礎 実験ノート・問題集				

学習の目標	1 実験・実習や科学史研究を通して、「生物基礎」の内容を深く探究します。 2 探究をする過程について学び、科学的な方法を習得します。
学習の方法	・「生物」の教科書や資料集等を用いて、生命現象のしくみを理解することが大切です。また、問題集を繰り返し解くことで、知識を定着させることも大切です。 ・観察・実験では、結果に対して、なぜそうなるのかを深く思考し、考察することを心掛けてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 生態学入門 (1) 生態系の保全 (2) 探究活動	・南予地域の気候やバイオーム、外来生物や生物多様性について学習し、さらに野外学習を通じて地域の生態系の保全について体験的に学習します。 【探究活動】植生調査 【探究活動】生態系の保全に関するディスカッション ・観察・実験の観察、発表、実験ノート、行動の観察、課題プリント、授業ノート、定期考査	○	○	○	◎
2 学期	2 生物化学入門 (1) 代謝 (2) 探究活動 3 分子生物学入門 (1) 遺伝情報とDNA (2) 探究活動	・生物基礎で学んだ内容を発展させ、専門的な学問分野の基礎的内容について、観察・実験を行いながら探究的に学習します。 【探究活動】緑葉中の色素の分離 【探究活動】DNAの抽出 ・観察・実験の観察、発表、実験ノート、行動の観察、課題プリント、授業ノート、定期考査	○	○	◎	○
3 学期	4 生理学入門 (1) 病気と生理 (2) 探究活動	・生理学の基礎となる恒常性や免疫について、医学的な側面から学習します。解剖実習を通じて、臓器の成り立ちや組織の機能について理解を深めます。 【探究活動】ブタの腎臓の観察 ・観察・実験の観察、発表、実験ノート、行動の観察、課題プリント、授業ノート、定期考査	○	○	○	◎

(備考) 定期考査は、全ての学期について、期末考査または学年末考査のみとする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	発表(パフォーマンス評価)、定期考査	30
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験ノート、授業ノート(ポートフォリオ評価)	20
④ 知識・理解	課題プリント、実験ノート、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	2	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。 2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。
学習の方法	・体づくり運動、球技・武道(選択)、陸上競技を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。 ・体育理論では、運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	
1 学期	体づくり運動	・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。 ・行動の観察	○	○	◎	
	選択1(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技	◎	○	○	
2 学期	体づくり運動	・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動の観察	○	○	◎	
	選択2(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技	◎	○	○	
	体育理論	・運動やスポーツを行うことで、大きな達成感や喜びを味わい、心や体を健康にすることを学びます。 ・小テスト、行動の観察	◎	○	○	
3 学期	陸上競技(長距離走)	・長距離を走るにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標にします。また、ペースの配分をしたり、ペースの変化に対応したりするなど主体的に取り組むことができますようにします。 ・記録計測	◎	○	○	
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンステスト、実技	◎	○	○	
	体育理論	・運動の合理的な動きを理解し、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学びます。 ・小テスト、行動の観察	◎	○	○	

### 評価の観点と方法

評価の観点	評 価 方 法	割合(%)
① 知識及び技能	行動の観察、パフォーマンステスト、実技、記録計測	40
② 思考力、判断力、表現力等	行動の観察、各先生の評価プリント、発表、小テスト	30
③ 学びに向かう力、人間性等	行動の観察、各先生の評価プリント	30

## 令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	1	教科書	現代高等保健体育 (大修館)		
副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)				

学習の目標	1 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めます。 2 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付けます。
学習の方法	現代社会は、生活習慣病や薬物、心の問題など健康にかかわる問題が少なくありません。また、健康のとらえ方や健康のために望まれることも変化してきました。そこで現代の健康問題や新しい健康のあり方について、課題学習などを取り入れながら主体的に学習します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	
1 学期	1 思春期と健康	・思春期の特徴を体と心の面から学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察 (以下同様)				
	2 性意識と性行動の選択	・性意識に関する男女の特徴をふまえて異性を尊重する態度が必要であることを学習します。				
	3 結婚生活と健康	・健康な結婚生活を送るためには、心身の発達や本人・家族の健康が大きく影響することを学習します。	◎	○	○	
	4 妊娠出産と結婚	・受精・妊娠・出産の一連の過程を理解し、胎児や母親の心身の健康問題、予防や健康のための支援について学習します。	◎	○	○	
	5 家族計画と人工妊娠中絶	・家族計画の意義や方法について理解し、お互いのコミュニケーションの意義やそれにもとづく妊娠、出産、人工妊娠中絶の意思決定ができるよう学習します。	○	◎	○	
	6 加齢と健康	・加齢にともなう心身の変化を形態面と機能面から学習します。	○	○	◎	
	7 高齢者のための取り組み	・高齢者の心身の健康を支援するための社会的対策が種々に行われていることを学習します。	◎	○	○	
	8 保険制度その活用	・保険制度を自分にかかわるものとして理解し、自分や家族のライフステージでどのように生かすかを学習します。	○	◎	○	
2 学期	9 医療制度とその活用	・様々な医療機関の活動内容を理解し、その利用にあたり医療費が支払われる仕組みを学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察 (以下同様)	○	◎	○	
	10 医薬品と健康	・医薬品の正しい使い方や理解し、医薬品の有効性や安全性がどのように認められているかといった、医薬品にかかわる社会的な側面を総合的に知ることができるよう学習します。	○	○	◎	
	11 さまざまな保健活動と対策	・日本や世界においてどのような保健活動や対策が行われているかを学習します。	◎	○	○	
	III 社会生活と健康 1 大気汚染と健康	・大気汚染や汚染源と汚染物質、それによる健康被害について学習します。	◎	○	○	
	2 水質汚染と健康	・かつて甚大な被害をもたらした産業排水による水質汚濁の実態とその対策及び、こんにちの生活排水による水質汚濁の実態を学習します。	○	◎	○	
	3 健康被害防止と環境対策	・環境汚染を防ぐためにさまざまな社会政策や個人でできることを幅広く調べ、総合的な対策を考えようとする態度を身に付けます。	○	○	◎	
4 環境衛生活動のしくみと働き	・ごみ処理と上下水道の整備の現状の仕組みを理解した上でそれらの問題点や対策を学びます。	◎	○	○		
3 学期	5 食品衛生活動のしくみと働き	・生産や製造・加工の現場から保存・流通、販売における基準などの遵守、遵守状況における行政の監視を学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察 (以下同様)	◎	○	○	
	6 食品と環境の保健と私たち	・私たち消費者が、安全な食品を確保し、環境を汚染しないために取り組むべき対策について学習します。	○	◎	○	
	7 働くことと健康	・働くことは人生において大変重要な意味を持つ一方で、働くことが原因で健康を損なうことがあることを学習します。	○	○	◎	
	8 労働災害と健康	・労働災害・職業病とは何か、ということについて理解した上で、労働中の事故とその対策、職業病の原因とその対策について具体的に学びます。	◎	○	○	
	9 健康的な職業生活	・職場における健康増進活動として、様々な専門家によって健康づくり支援が行われるようになってきたことを学習します。	○	◎	○	

(備考) 定期考査は、学期末に行う。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 知識	定期考査、ノート、課題プリント、パフォーマンステスト	40
② 思考力、判断力、表現力等	行動の観察、発表、定期考査、パフォーマンステスト	30
③ 学びに向かう力、人間性等	行動の観察、課題プリント	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	1	教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)		
副教材等					

学習の目標	1 音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組みます。 2 音楽のよさや美しさを理解し、自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして個性豊かに表現します。 3 多様な音楽に対する視野や理解を深め、主体的に鑑賞します。
学習の方法	・歌唱では、音楽Ⅰより難易度の高い歌曲を歌います。授業での楽曲や演奏方法に関する説明をよく聞き、理解して演奏してください。 ・器楽では、コード進行を学習しながら創作活動にも生かせる旋律と伴奏の演奏を練習します。器楽で学習した鍵盤楽器を使ってテーマに合う作曲ができるよう、日常生活の中にある様々な音楽に興味を持ってください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	歌唱 ポピュラー・ソング	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。</li> <li>発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。</li> <li>練習への取り組み方、実技テスト</li> </ul>	○	◎	○	-
	歌唱 日本歌曲 イタリア歌曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。</li> <li>発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。</li> <li>練習への取り組み方、実技テスト</li> </ul>	○	◎	○	-
	器楽 鍵盤楽器	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアノの基本的奏法を習得し、表現を工夫して演奏します。</li> <li>練習への取り組み方、実技テスト</li> </ul>	○	○	◎	-
	鑑賞 ミュージカル	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、表現の特徴を理解して鑑賞します。</li> <li>ワークシート</li> </ul>	○	-	-	◎
2 学期	創作 音階から音楽を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞を考え、言葉の抑揚に合うメロディーを作ります。</li> <li>自分のイメージに合う音階を選び、メロディーを作ります。</li> <li>授業態度、ワークシート、実技テスト</li> </ul>	○	◎	○	-
	西洋音楽史・楽典	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な時代の音楽や作曲者の特徴と、文化的・歴史的背景との関わりについて学びます。</li> <li>楽譜の書き方や、読み方について学びます。</li> <li>ワークシート、小テスト</li> </ul>	○	-	◎	-
3 学期	器楽 ヴァイオリン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヴァイオリンを通して、西洋の文化的・歴史的背景や特徴を理解します。</li> <li>ヴァイオリンの基本的奏法を習得し、表現を工夫して演奏します。</li> <li>練習への取り組み方、実技テスト</li> </ul>	○	◎	○	-

(備考) ヴァイオリンは、音楽選択者全員で使用します。丁寧に扱い、授業後は整理整頓に努めてください。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、練習への取り組み方、ワークシート	20
② 音楽表現の創意工夫	実技テスト、練習への取り組み方	30
③ 音楽表現の技能	実技テスト、小テスト、パフォーマンステスト	30
④ 鑑賞の能力	ワークシート	20

## 令和4年度 シラバス

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	1	教科書	美術2 (光村図書)		
副教材等					

学習の目標	1 1年次の学習内容に継続し、表現力や想像力を更に伸ばします。 2 これまでの知識、技術及び経験像を基に、主体的、個性的な表現を追求します。 3 鑑賞活動を通して、他人の考えを尊重し自分の考えを適切に表現します。
学習の方法	・すべての表現活動において、主にアクリル絵の具を使用します。 ・1年の学習を踏まえて、より高度な美術作品の制作や学習を行っていきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 作家の生涯と作品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルヴァ・アアルトの生涯と作品を通して、建築への考え方やデザインの工夫を学びます。</li> <li>・線遠近法、透視図法で自分が理想とする部屋を設計し、形になる面白さを味わいます。</li> <li>・授業への取り組み、実技、作品、レポート</li> </ul>	○	○	◎	○
	2 アニメーションを作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方眼工作用紙で立方体を作り組み立てることで、ノマキューブの構造を理解します。</li> <li>・展開した後、最初に戻る構造から何度も繰り返される物語を考え、描きます。</li> <li>・授業への取り組み、行動の観察、作品</li> </ul>	◎	○	○	-
2 学期	3 絵画表現 うつろう自然を描く(金屏風の制作)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金屏風の制作を通して、日本美術や日本の伝統文化についての理解を深めると共に、日本独特の絵画様式について学びます。</li> <li>・金屏風の構成の難しさや、立体的に絵を表現する面白さを味わいます。</li> <li>・国宝の屏風絵などの鑑賞を通して、日本美術の歴史を学びます。</li> <li>・授業への取り組み、実技、作品、レポート</li> </ul>	○	◎	○	○
	4 絵画表現 見えるものの向こうに(植物の細密画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の細密画を通して、身近にあるものを深く観察することで、対象が持つさまざまなかたちを探り、自然の造形の面白さを味わいます。</li> <li>・緻密な表現を通して写実表現の技法を学びます。</li> <li>・授業への取り組み、作品、レポート</li> </ul>	○	◎	○	○
3 学期	5 心の記録、想像の源(抽象表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象表現作品制作を通して、具象作品との違いや鑑賞の仕方を学び、よさを味わいます。</li> <li>・偶然できた色や形から着想する描画法など、様々な技法を学びます。</li> <li>・授業への取り組み、作品、レポート</li> </ul>	○	○	◎	○
	6 そこから見えるもの(鑑賞)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な作品を鑑賞し、その作品から自分が見たもの、感じたことを発表し、他者との視点や捉え方の違いを知り、様々な角度から作品を鑑賞します。</li> <li>・授業への取り組み、発表、レポート</li> </ul>	○	-	-	◎

(備考) ・美術教室の道具類は美術選択者全員が使用します。丁寧に扱い、実習終了後の整理整頓を心掛けてください。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 美術への関心・意欲・態度	授業への取り組み、行動の観察	10
② 発想や構想の能力	行動の観察、作品	40
③ 創造的な技能	実技、作品	30
④ 鑑賞の能力	レポート、発表	20

## 令和4年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学年・学科・類型	2年 普通科 I型
単位数	1	教科書	書Ⅱ (教育図書)		
副教材					

学習の目標	1 様々な書体を勉強し、古典の美に触れ、感性を磨きます。 2 古典を臨書し、様々な書体を書くための技術を身に付けます。 3 日常生活に即した、整った字の書き方を学びます。
学習の方法	・古典の臨書を通して、観察力や技術を学び、集中力を養います。 ・書の歴史を学び、作品への理解を深めます。 ・古典で学習した内容を、創作活動に活用します。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 楷書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次で学習したことの復習をします。</li> <li>・日本で独自に発展した書の文化を鑑賞しながら、臨書します。</li> <li>・臨書への取組、作品</li> </ul>	○	◎	-	○
	2 行書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書Ⅰでの学習を基に、作品への理解をより深めていきます。</li> <li>・古典作品のそれぞれの特徴をとらえて、臨書します。</li> <li>・臨書への取組、作品、感想文</li> </ul>	○	◎	○	○
2 学期	3 草書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字の崩し方の原理を学習し、流動する用筆美を味わいます。</li> <li>・古典作品のそれぞれの特徴をとらえて、臨書します。</li> <li>・臨書への取組、作品</li> </ul>	○	◎	-	○
	4 隷書・篆書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書体の特徴を理解し、字形や用筆法を学習します。</li> <li>・いろいろな古典作品を鑑賞しながら、臨書します。</li> <li>・臨書への取組、作品、感想文</li> </ul>	○	◎	○	○
3 学期	5 仮名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の特徴をとらえて、流動する仮名独特の用筆美を味わいます。</li> <li>・臨書への取組、作品</li> </ul>	○	◎	-	○
	6 創作 (仮名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌や俳句などを、古典から集字しながら創作します。</li> <li>・応用力、作品</li> </ul>	○	-	◎	○
	7 創作 (漢字)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までに学習した臨書作品を元に、創作をします。</li> <li>・応用力、作品、感想文</li> </ul>	○	-	◎	○

(備考) 書道の道具類は、丁寧に扱い、後片付けもしっかり行ってください。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 書への関心・意欲・態度	学習活動の観察	20
② 書表現の構想と工夫	臨書への取組、作品	40
③ 創造的な書表現の技能	応用力、作品	30
④ 鑑賞の能力	感想文	10

## 令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	4	教科書	Revised ELEMENT English Communication II (啓林館)		
副教材等	Vision Quest 総合英語 Ultimate (啓林館)、ターゲット1900 (旺文社)				

学習の目標	1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 教科書等の英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想や意見を、英語で話し合える理解と表現力を習得します。 3 より高度な構文や文法を習得し、語彙を増やします。GTEC Advanced 700点以上を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の文章を読んでもおくことが前提になります。授業中の言語活動に参加できるように、音読と大まかな内容把握をした上で授業に臨みましょう。自分の力で取り組む習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや英語で自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べるようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 1 Beyond Words	・非音声的言語とは何かや非音声的言語の種類、非音声的言語が文化によって異なることについて学びます。 ・助動詞＋完了形、受動態の動名詞、付帯状況を表す with A B ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	○	◎	○
	Lesson 2 Stay Hungry, Stay Foolish	・スティーブ・ジョブズが半生で得た教訓について学びます。 ・複合関係詞、S＋V (be動詞)＋C (that節)、be動詞＋to不定詞 ・言語活動への参加状況、発表、定期考査、パフォーマンステスト	○	◎	○	○
1 学期 末	Lesson 3 A Teenager To Change the World	・ジャック・アンドレイカの研究や成功の理由について学びます。 ・動名詞の意味上の主語、疑問詞＋do you think＋(S')＋V'?, 未来進行形 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	◎	○	○
	Lesson 4 Life in a Jar	・イレーナ・センドラーがユダヤ人のために行ったことについて学びます。 ・完了形の受動態、さまざまな分詞構文 ・言語活動への参加状況、発表、定期考査、パフォーマンステスト	○	○	◎	○
2 学期 中間	Lesson 5 Space Debris	・宇宙ごみが引き起こす問題や、その解決のために行われている取組について学びます。 ・接続詞＋分詞、二重否定、部分否定 ・言語活動への参加状況、発表、定期考査、パフォーマンステスト	○	○	◎	○
	Lesson 6 Caddy for Life	・ブルース・エドワーズとトム・ワトソンの関係や、ブルースの病気に対する立ち向かい方について学びます。 ・独立分詞構文、関係副詞の非限定用法 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 末	Lesson 7 iPS Cells	・山中博士によるiPS細胞の研究について、また激化する再生医療分野での競争について学びます。 ・不定詞の意味上の主語、ifを省略した仮定法、同格のthat ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	○	◎	○
	Lesson 8 Selective Breeding	・犬と人間とのかかわりと、人間による犬の品種改良がもたらした結果について学びます。 ・仮定法の慣用表現、完了形の動名詞、強調構文 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	◎	○	○
3 学期	Lesson 9 The Vancouver Asahi	・1800年代後半から太平洋戦争時のカナダにおける日系人の状況と、日系人野球チーム朝日の活躍について学びます。 ・whatを用いた強調、無生物主語、倒置 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	◎	○	○
	Lesson 10 Euglena	・ミドリムシとはどのような生物か、またその研究に情熱を注いだ出雲さんと、ミドリムシ活用の可能性について学びます。 ・複合関係詞however、if節に相当する表現、未来完了形 ・言語活動への参加状況、発表、課題、定期考査	○	○	◎	○
	Further Reading 2 Momo	・名作ファンタジーを読んでみましょう。 ・モモと街の住民たちと灰色の男たちの攻防について読み取ります。	○	○	◎	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト	20
② 外国語表現の能力	発表、パフォーマンステスト、定期考査	30
③ 外国語理解の能力	発表、パフォーマンステスト、定期考査、小テスト	30
④ 言語や文化についての知識・理解	発表、定期考査、小テスト	20

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。



## 令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	2	教科書	Revised Vision Quest English ExpressionⅡ Ace (啓林館)		
副教材等	Vision Quest 総合英語 Ultimate (啓林館)				

学習の目標	1 英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 より高度な表現や構文・文法を習得し、英文の内容や相手の意図を正しく理解し、自分の考えを効果的に表現できる英語力を身に付けます。 3 GTEC Advanced 700点以上を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の練習問題などを解答しておくことが前提になります。授業中の言語活動に参加できるように、自分の力で解答する習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	【Part 1】 Lesson 1 お花見 Lesson 2 漫画の楽しみ	・主語について学習します。 ・主語の決定/主語の決定/見えない主語の発見/主語のit/主語になる名詞句/形式主語/無生物主語 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
	Lesson 3 京都へ観光に Lesson 4 私の家族です	・動詞や文型について学習します。 ・自動詞と他動詞/間違えやすい自動詞と他動詞/詳動詞/SVO/SVOC ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○
	Lesson 5 保育園での授業体験 Lesson 6 サプライズパーティー	・動詞と文型について学習します。 ・SVC/SVOC/使役動詞/知覚動詞 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
1 学期 末	Lesson 7 映画のお誘い Lesson 8 航空管制官になる	・動詞の語法や話法について学習します。 ・直接話法と間接話法/間接話法で伝達/「～する」/「～している」 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○
	Lesson 9 趣味はピアノ Lesson 10 『タイタニック』を見て	・動詞の語法や態について学習します。 ・「～した」/「～していた」/能動態と受動態/日本語との違い ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
	Lesson 11 世界遺産の魅力 Lesson 12 ボランティア活動	・法や助動詞について学習します。 ・「もし(今)～ならば」/「もし(あの時)～だったなら」/義務・必要を表す助動詞/推量を表す助動詞 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○
2 学期 中間	Lesson 13 制服に賛成? 反対? Lesson 14 ローマの魅力	・修飾語(句)について学習します。 ・数量を表す語句/名詞を前から修飾する語句/名詞を後ろから修飾する①・② ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
	Lesson 15 思い出の写真 Lesson 16 科学技術の利用	・関係詞や副詞(副詞句)について学習します。 ・関係代名詞/関係副詞/副詞・副詞句/不定詞や分詞を使った副詞句 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○
	Lesson 17 携帯電話は便利だけど… Lesson 18 犬派? 猫派?	・副詞(副詞節)や比較について学習します。 ・副詞節①・②/原級/比較級 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	○	◎	-	○
3 学期	Lesson 19 思い出深いプレゼント Lesson 20 インターネットの問題点	・比較や否定について学習します。 ・最上級/最上級を意味する表現/no+名詞, no-で始まる代名詞/部分否定/準否定 ・言語活動への参加状況、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト	○	◎	-	○

(備考) 1 1, 2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト	20
② 外国語表現の能力	定期考査、パフォーマンステスト	50
③ 外国語理解の能力		/
④ 言語や文化についての知識・理解	言語活動への参加状況、定期考査、小テスト	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	1	教科書	新家庭基礎 主体的に人生をつくる (大修館)		
副教材等	家庭科ノート・調理実習ノート基礎編 (愛媛県家庭科教育研究会)				

学習の目標	1 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得します。 2 家庭や地域の生活課題を主体的に解決する力を習得します。 3 生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を養います。
学習の方法	・自立するために必要な実践力が身に付くよう学習してください。 ・実習中は技術の習得とともに、コミュニケーションをとって協力するよう心掛けてください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第8章 健康で快適な衣生活をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常多く用いられる被服材料の特徴について実験や実習を交えながら学習します。</li> <li>ノート、小テスト、課題プリント、作品、行動の観察</li> </ul>	○	○	◎	○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>用途や目的にあった被服材料の選択や、材料に合った被服管理を実験や実習を交えながら学習します。</li> <li>ノート、小テスト、課題プリント、被服実習、作品、行動の観察</li> </ul>	○	○	◎	○
1 学期 末	第7章 生涯の健康を見通した食生活をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>食物の役割を認識し、実験や実習を交えながら学習します。</li> <li>ノート、小テスト、調理実習、行動の観察</li> </ul>	○	○	◎	○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族の食生活に関心を持ち、実験や実習を交えながら学習します。</li> <li>ノート、小テスト、調理実習、行動の観察</li> </ul>	○	○	◎	○
2 学期 中間	第9章 安全で快適な住生活をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>住まいの機能を理解し、快適に暮らせる住まいの条件を学習します。</li> <li>ノート、小テスト、課題プリント、行動の観察</li> </ul>	○	○	—	◎
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフスタイル・ライフステージに応じた住まいの条件を学習します。</li> <li>ノート、小テスト、課題プリント、行動の観察</li> </ul>	○	○	○	◎
2 学期 末	第10章 持続可能な社会をめざして行動しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>快適で安全な室内環境にするため、どのような工夫が必要か学習します。</li> <li>ノート、小テスト、課題プリント、行動の観察</li> </ul>	◎	○	○	○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地球環境を保全するためにどのような工夫ができるか学習します。</li> <li>ノート、小テスト、プレゼンテーションの作成・発表、行動の観察</li> </ul>	○	◎	○	○
3 学期	第6章 経済生活をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活の現状と課題、消費者の権利と責任について学習します。</li> <li>ノート、小テスト、行動の観察</li> </ul>	○	○	—	◎
		<ul style="list-style-type: none"> <li>経済生活の現状を把握し、経済生活の設計と管理について学習します。</li> <li>ノート、小テスト、プレゼンテーションの作成・発表、行動の観察</li> </ul>	○	◎	○	○
	第11章 生活をデザインしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分らしいライフスタイルを描きながら、人生の時間軸に沿って生活設計を立てる学習をします。</li> <li>ノート</li> </ul>	◎	○	○	○

(備考) 1,2学期に実技テストを行う。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、課題プリント、小テスト、プレゼンテーション	25
③ 技能	作品、実習	30
④ 知識・理解	ノート、小テスト	25

(備考) 実習教科のため実習を重視した評価を行う。